corega®

WLCVR-11

取扱説明書

PART1 まず準備が必要 1

PART2 本製品の設定をする 2

PART3 ネットワークに接続する 3

PART4 トラブルや疑問があったら 4

付録 付録

本書の「安全にお使いいただくために　必ずお守りください」(P.1) を必ずお読みになり、正しく取り付け・操作を行ってください。

PN J613 -M7407-00 Rev.A

作業の流れ

本書では、本製品を使って無線LANに接続できるようになるまでの作業をPARTに分けて説明しています。各PARTでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

PART1

まず準備が必要

① 添付品の確認をします。
② 本製品を設定できるパソコンの条件や、本製品に取り付けられる機器、通信相手の機器の設定などを確認してください。
③ 各部の名称と機能を確認します。

本製品と無線接続する機器側（ルーターなど）で、セキュリティーの設定（ESSID、WEPなど）をしていない場合は、「PART2 本製品の設定をする」の作業は必要ありません。「PART3 ネットワークに接続する」（P.33）に進んでください。

PART2

本製品の設定をする

① 本製品を設定する設定用パソコンのネットワーク設定を行います。使用するOSに対応した箇所を読んでください。
② 本製品と設定用パソコンを接続して、本製品の設定を行います。

PART3

ネットワークに接続する

① 本製品にパソコンやゲーム専用機などを接続します。
② インターネットに接続してみます。

PART3までの作業が終われば、パソコンやゲーム専用機などを本製品に接続して無線LANに接続できるようになります。PART4以降は、必要に応じて読んでください。

PART4

トラブルや疑問があったら

PART3までの作業で、無線LANへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このPARTを読んで解決方法を探してください。

付　録

付録

製品仕様、保証と修理に関する説明があります。

安全にお使いいただくために 必ずお守りください

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

	感電の可能性が想定されることを示します。		発煙または発火の可能性が想定されることを示します。
	けがを負う可能性が想定されることを示します。		高温による傷害の可能性が想定されることを示します。

障害や事故の発生を防止するための、その他の注意事項は次のマークで表しています。

	電源プラグを抜く 電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

⚠警告

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

高温注意

本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触れると、やけどの恐れがあります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、DC ジャックなどに素手で触れないでください。

取り付け・取り外しのときの注意

本製品の取り付け・取り外し作業は、必ず本取扱説明書、および本製品に取り付ける機器の取扱説明書を参照の上、正しく行ってください。

長期保管時は袋に入れて

本製品を長期間ご使用にならない場合は、LANケーブル、電源ケーブルを取り外して必ず添付の袋（静電防止）に入れて保管してください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったもので ふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）。

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。
また設置の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

- 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。
  電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

このたびは、「corega WLCVR-11」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。
本製品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。無線LANに関する情報や活用例などもご紹介しております。

http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

注意!	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	corega WLCVR-11 のことです。
「 」−「 」−「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例 : OK → [OK]
LAN ケーブル	本書では、UTPケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本製品の接続には UTP ケーブルを使用してください。
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版および Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版のことです。

※本書では、Windows 98 と Windows 98SE を含めて、Windows 98 と表記しています。また、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

作業の流れ …… 表紙裏
安全にお使いいただくために 必ずお守りください …… 1
ご使用にあたってのお願い …… 3
お手入れについて …… 4
電波に関する注意 …… 5
はじめに …… 6
本書の読み方 …… 7

PART1　まず準備が必要 …… 10

添付品の内容を確認しよう …… 10
本製品でできること …… 11
使用環境を確認しよう …… 12
設定に必要な環境は準備できていますか？ …… 12
本製品を使用する環境は問題ないですか？ …… 12
通信距離は問題ないですか？ …… 13
設定に必要な情報は準備できていますか？ …… 14
各部の名称と機能を覚えよう …… 15
本体表面 …… 15
本体側面 …… 16
本体裏面 …… 17
本製品を設置しよう …… 18
本製品を設置する場所について …… 18
縦置きスタンドの取り付け方 …… 18
壁への取り付け …… 19
本製品の電源を入れるには …… 20

PART2　本製品の設定をする …… 21

設定用パソコンの準備をしよう …… 21
Windows XP/2000の場合 …… 22
Windows Me/98の場合 …… 24
Mac OS Xの場合 …… 26
Mac OS 9.xの場合 …… 27

本製品の設定をしよう …… 28
本製品を設定用パソコンと接続しよう …… 28
設定ユーティリティーを起動する …… 29
Mac OS Xで本製品の設定をした場合 …… 32

PART3　ネットワークに接続する …… 33

パソコン、ゲーム専用機などと本製品を接続する …… 33
通信できるか確認する …… 34

PART4　トラブルや疑問があったら …… 35

解決のステップ …… 35
取扱説明書を再確認する。管理者に確認する …… 36
Q&A …… 36
通信ができない …… 36
設定ユーティリティーが起動できない …… 37
本製品のパスワードを忘れてしまった …… 39
ファームウェアの更新に失敗した …… 39
本製品を再起動したい …… 40
本製品を工場出荷時の状態に戻したい …… 41
最新のファームウェアを入手してアップデートしたい …… 42

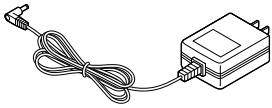
付録 …… 45

製品仕様 …… 45
工場出荷時の設定 …… 47
MAC アドレスについて …… 47
おことわり …… 48
保証と修理について …… 49
製品に関するご質問は… …… 50（巻末）

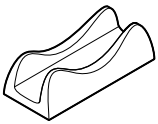
添付品の内容を確認しよう

本製品のパッケージには、次のものが同梱されています（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですがご購入元までご連絡ください。

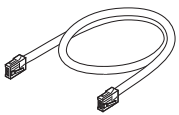
□ corega WLCVR-11 本体



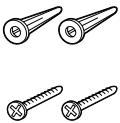
□専用 AC アダプター



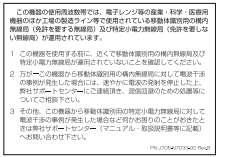
□縦置きスタンド



□ LAN ケーブル（ストレート）



□壁掛キット（2 セット）



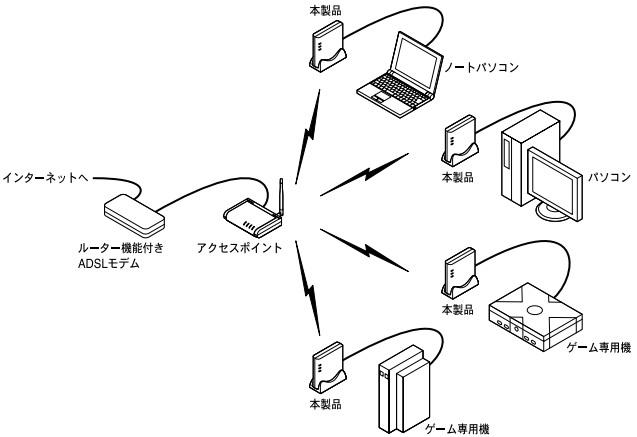
□電波干渉注意ラベル（1 枚）

□『取扱説明書』（本書）

□製品保証書

本製品でできること

本製品は、LANポートに接続するIEEE 802.11b 対応の無線LANイーサネット変換アダプターです。LANポートを搭載したパソコンやゲーム専用機などを本製品とLANケーブルで接続すれば、既存の無線LANに無線接続することが可能です。また、ドライバーや設定用のソフトウェアをインストールする必要がないので、パソコンのリソースを消費しません。さらに本製品は、無線LAN標準の暗号化プロトコル、WEP（64ビット/128ビット）に対応していますので、通信データの傍受を防ぐことができます。



注意!
- 本製品の通信モードは、インフラストラクチャーモードのみです。アドホックモードでの通信はできません。
- 本製品を無線LANアクセスポイントとして使用することはできません。
- 本製品にハブを経由して複数のパソコンを接続することはできません。
- 本製品を取り付けたパソコン間での無線通信は行えません。

使用環境を確認しよう

本製品を接続する前に、以下の項目を確認し、☑のようにチェックを付けてください。

注意! 企業などで本製品を利用する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な機器の準備、設定を行ってください。

チェック1
設定に必要な環境は準備できていますか？

本製品を設定するためには、以下の条件を満たしているパソコンが必要です。

・LAN ポートを装備している
・TCP/IP が組み込まれている
・Windows XP/2000/Me/98、Mac OS X、Mac OS 9.xのいずれかの OS を搭載している
・Internet Explorer（バージョン 5.0 以降）をインストールしている

メモ TCP/IP は、特別な理由で削除していない限り、標準で組み込まれています。

注意! 本製品をゲーム専用機に接続する場合も本製品の設定には、上記の条件を満たしているパソコンが必要です。

チェック2
本製品を使用する環境は問題ないですか？

● 本製品と無線通信できる無線 LAN 機器（通信相手機器）

IEEE802.11b 準拠の無線 LAN 製品（ルーターなど）と通信できます。

注意!
・本製品の通信モードは、インフラストラクチャーモードのみです。アドホックモードでの通信はできません。
・通信相手の機器で無線LANに必要な設定をしておいてください。設定方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

メモ
・接続の可否については、無線LAN機器のメーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、コレガのホームページで、本製品と通信可能な機器を紹介しています。他の無線LAN機器を購入する前に、こちらもご覧ください。
・「IEEE802.11a」規格の無線 LAN 機器とは接続できません。

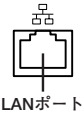
● 本製品に接続できるネットワーク機器

10BASE-T/100BASE-TX（RJ-45）対応のLANポートを装備した機器と接続できます。

〈使用可能な機器の例〉

・LAN ポートを持つゲーム専用機
・PC/AT 互換機、PC98-NX（NEC 製）、Apple Macintosh シリーズなどのパソコン
・ネットワークプリンター、有線 LAN プリントサーバー

メモ　LANポートは、イーサネット、ネットワーク接続端子、LANケーブル接続端子などとも呼ばれます。
LAN ポートには 品 のマークが付いています。



チェック3
通信距離は問題ないですか？

本製品の最大通信距離は、理論上、屋外で 150m 、屋内で 50m です。本製品を取り付けるパソコンと、通信相手の機器との距離が離れすぎたり、周辺に障害物があったりしないか、確認しておいてください。

メモ　周辺の環境（障害物など）、通信相手機器の性能、通信相手機器との距離などにより、通信速度、距離が大きく変動します。

チェック4
設定に必要な情報は準備できていますか？

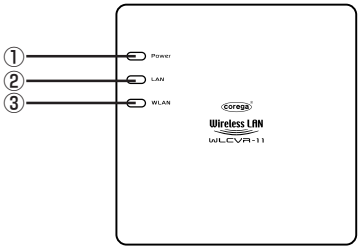
本製品の設定をするには、次の情報が必要になります。

注意! 会社などで既存のLANに無線で接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な情報を準備してください。

ESSID	無線ＬＡＮ に接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。通信相手の機器と同じにします。通信相手の機器で設定されている「ESSID」を確認し、メモしておいてください。
暗号キー（WEPキー）（通信相手にも暗号が設定されている場合）	通信するデータを保護するための暗号です。必要に応じて設定します。暗号キー（WEPキー）は、通信相手の機器と同じにします。通信相手の機器で暗号キーを設定している場合は、設定されている暗号キーを確認し、メモしておいてください。

各部の名称と機能を覚えよう

■本体表面



① Power LED（緑）

本製品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

② LAN LED（緑）

本体背面のLANポートの状態が表示されます。

点灯：接続先の機器とリンクが確立されている状態です。

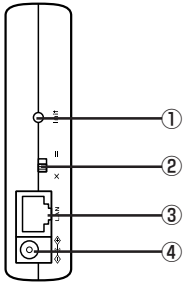
点滅：接続先の機器とデータ通信中です。

消灯：接続先の機器とリンクが確立されていない状態です。

③ WLAN LED（緑）

本製品が無線通信をしているときに、緑色に点滅します。

■本体側面



① Init スイッチ

本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本製品を工場出荷時の状態に戻したい〈Init スイッチを使う〉」（P.42）を参照してください。Init スイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

② MDI/MDI-X 切替スイッチ

ＬＡＮ ポートに接続する機器のポートの種類（MDI/MDI-X）に合わせて切り替えるスイッチです。

X：本製品の LAN ポートを MDI-X にします。ストレートケーブルを使用する場合、通常こちらでパソコンやゲーム専用機などと接続できます。

＝：本製品の LAN ポートを MDI にします。

メモ　ケーブル接続後、LAN LED が点灯しない場合は、このスイッチを切り替えてみてください。

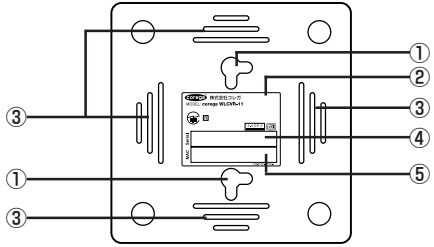
③ LAN ポート

パソコンやゲーム専用機などを接続するためのポートです。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

④ DC ジャック

添付の専用 AC アダプターを接続するためのコネクターです。

■本体裏面



①壁掛け用穴

添付の壁掛けキットを使って、本製品を壁に掛けて使うときに使用します。

②警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

③通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。

④シリアル番号シール

本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

⑤MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記載されています。

メモ　上の図で 2.4 DS 4 は次の内容を意味しています。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
伝送方式	DS-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

本製品を設置しよう

■本製品を設置する場所について

本書冒頭の「安全にお使いいただくために」をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。本製品の通気孔は、放熱のため塞がないでください。本製品を安定させて設置する場所が見つからない場合は、添付の縦置きスタンドを本製品に取り付けることで、本製品を立てて設置できます。また、添付の壁掛けキットを使用して壁に取り付けることもできます。

●設置に適した場所

- 水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
- 風通しのよい涼しい場所

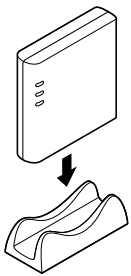
●設置に適さない場所

- 直射日光が当たる場所
- 暖房器具の近くなど
- 高温多湿でホコリの多い場所
- パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

■縦置きスタンドの取り付け方

本製品を縦置きで使用する場合は、添付の縦置きスタンドをご利用ください。

1 縦置きスタンドに本製品をはめ込みます。



■壁への取り付け

添付の壁掛けキット（ネジ２本、プラスチックアンカー２本）を使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。

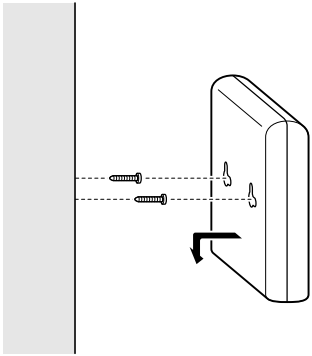
注意! ・LANケーブルと専用ACアダプターのコネクターが本製品に無理なく接続できる位置に取り付けてください。
・使用中に本体表面のLEDの状態が確認できる位置に取り付けてください。

1 本体裏面にある2つの壁掛け用穴の間隔で、添付の壁掛キットのネジ2本を壁などに取り付けます。

(メモ) 石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁で、ネジが取り付けづらい場合は、添付の壁掛けキットのプラスチックアンカー(2本)を併用します。ネジを取り付ける位置に、きりやドリルなどで穴を開けておき、プラスチックアンカーをかなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

2 ネジ頭が約5mm残るようにして、添付のネジを壁(または、プラスチックアンカー)に取り付けます。

3 本体裏面の壁掛け用穴に取り付けたネジ頭を指し込み、図のようにスライドさせて、しっかり固定させます。



■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方／切り方

本製品背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

注意!
- 本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

PART2　本製品の設定をする

本製品を利用して無線LANに接続するには、本製品の設定を通信相手側機器（ルーターなど）に合わせる必要があります。通信相手側機器（ルーターなど）で、セキュリティーの設定（ESSID、WEPなど）をしている場合は、本製品にも同じ設定をします。セキュリティーの設定をしていない場合は、「PART3 ネットワークに接続する」（P.33）に進んでください。

設定用パソコンの準備をしよう

本製品の設定は、本製品とパソコンを直接LANケーブルで接続して行います。1台のパソコンを本製品の設定用パソコンとして準備してください。
本製品の設定が工場出荷時の状態の場合には、設定用パソコンを以下のように設定することで、本製品の設定ができるようになっています。

- IPアドレス　：「192.168.1.235」を除く、「192.168.1.1」～「192.168.1.254」のいずれかに設定
- サブネットマスク：「255.255.255.0」に設定

注意!
- 本書では設定用パソコンのIPアドレスとサブネットマスクを以下のように設定したものとして説明します。
  IPアドレス値：192.168.1.3
  サブネットマスク値：255.255.255.0
  設定の際には、実際の値に読み替えてください。
- パソコンの設定を行う前に、現在のネットワーク設定をメモしておいてください。
- ここで行ったネットワーク設定は、本製品を設定するための一時的な設定です。設定用パソコンを実際のネットワーク環境で使用する場合には、本製品の設定完了後にパソコンの設定を元にもどしてください。
- 本製品の工場出荷時のIPアドレスは、192.168.1.235です。ご使用になるネットワーク環境で、これと同じIPアドレスを持つ機器が存在する場合は、本製品のIPアドレスを影響のない値に変更してお使いください。

以上の設定条件を確認したらご使用のOSに応じて以下のページに進み設定用パソコンのネットワーク設定をしてください。

- Windows XP/2000の場合→P.22
- Windows Me/98の場合→P.24
- Mac OS Xの場合→P.26
- Mac OS 9.xの場合→P.27

■ Windows XP/2000 の場合

注意! Windows XP や Windows 2000 では、「コンピューターの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザー名で設定用パソコンにログオンしてください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。

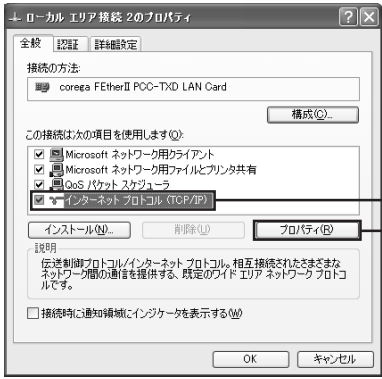
1 「スタート」−「コントロールパネル」をクリックします。
(Windows 2000の場合は、「スタート」−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。)

2 「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」−「ネットワーク接続」をクリックします。
(Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」にある「ネットワーク接続」をダブルクリックします。)

メモ Windows XPで「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

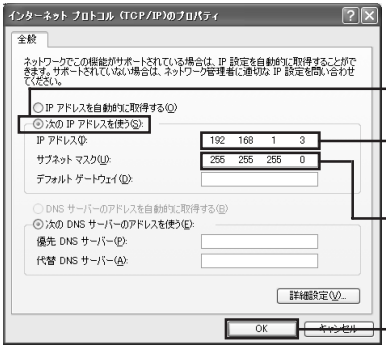
3 「ローカル エリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。



①「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。
②[プロパティ] をクリックします。

5 「次のIPアドレスを使う」を選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして［OK］をクリックします。



①「次のIPアドレスを使う」を選択します。

②「192. 168. 1.3」と入力します。

③「255. 255. 255. 0」と入力します。

④［OK］をクリックします。

6 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面で、［OK］をクリックします。

7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。
メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」（P.28）に進んでください。

■ Windows Me/98 の場合

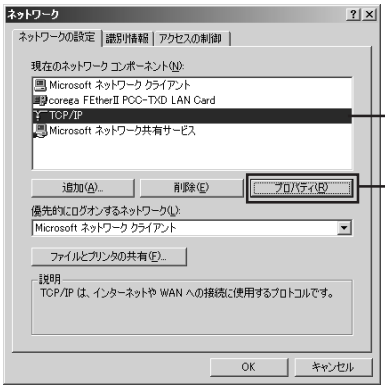
ここでは例としてWindows Meを使用しています。Windows 98をご使用の場合も手順は同様です。

1 「スタート」−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。

(メモ) Windows Meで「ネットワーク」アイコンが表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

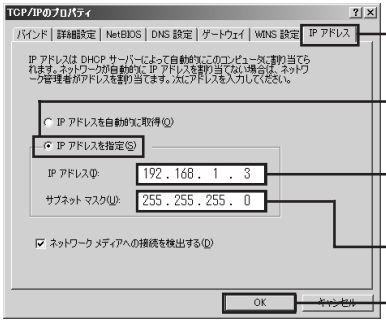
3 「TCP/IP −>×××××××(ご使用のネットワークアダプタ名が表示されます。)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。



①TCP/IP をクリックします。
※認識されているネットワークアダプタが 1 台しかない場合はネットワークアダプタ名が表示されない場合もあります。

②［プロパティ］をクリックします。

4 「IPアドレス」タブを選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をします。



① 「IPアドレス」タブを選択します。

② 「IPアドレスを指定」を選択します。

③「192. 168. 1.3」と入力します。

④「255. 255. 255. 0」と入力します。

⑤ [OK]をクリックします。

5 「ネットワーク」画面の、[OK]をクリックします。

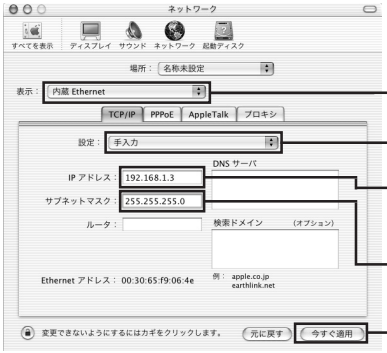
メモ WindowsのOS用ディスクを入れてください、という旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」（P.28）に進んでください。

■ Mac OS X の場合

1 「アップルメニュー」−「システム環境設定」−「ネットワーク」アイコンをクリックします。

2 「ネットワーク」画面が表示されたら以下のように設定します。



①「内蔵 Ethernet」を選択します。

②「手入力」を選択します。

③「192. 168. 1.3」と入力します。

④「255. 255. 255. 0」と入力します。

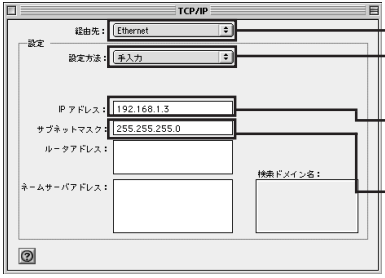
⑤［今すぐ適用］をクリックします。

パソコンの設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」(P.28) に進んでください。

■ Mac OS 9.x の場合

1 「アップルメニュー」−「コントロールパネル」−「TCP/IP」をクリックします。

2 「TCP/IP」画面が表示されたら以下のように設定します。



①「Ethernet」を選択します。
②「手入力」を選択します。
③「192. 168. 1.3」と入力します。
④「255. 255. 255. 0」と入力します。

3 「TCP/IP」画面を閉じ、確認のダイヤログが表示されたら［保存］をクリックします。

パソコンの設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」(P.28) に進んでください。

本製品の設定をしよう

■本製品を設定用パソコンと接続しよう

本製品をパソコンに接続して設定を行います。本製品にゲーム専用機を接続して使用する場合にも、本製品の設定は、パソコンに接続して行います。ゲーム専用機との接続は、本製品の設定完了後に行ってください。
以下の手順で本製品と設定用パソコンをLANケーブルで接続します。

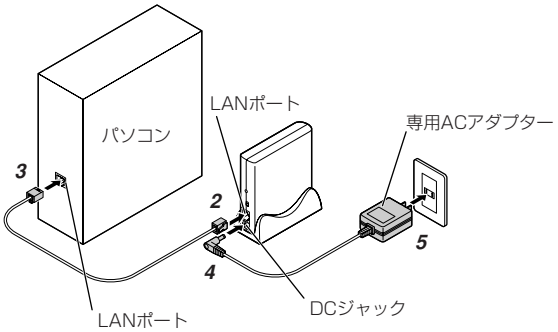
1 本製品と設定用パソコンの電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

2 本製品のLANポートに添付のLANケーブルを接続します。

3 LANケーブルのもう一方をパソコンのLANポートに接続します。

4 本製品のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

5 本製品のACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯します。



6 パソコンの電源を入れます。

次に「設定ユーティリティーを起動する」（P.29）に進んでください。

■設定ユーティリティーを起動する

本製品の設定は Web ブラウザーで行います。Web ブラウザーには Internet Explorer 5.0 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザーでは、正常に設定が行えません。

注意!
- 設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。
- Webブラウザーでの設定時には、設定ページを素早く切り替えないでください。素早いクリックによるページの切り替えは、誤作動の原因となります。十分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、設定操作を確実に行ってください。
  設定ユーティリティーが起動できない場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」「設定ユーティリティーが起動できない」(P.37) を参照してください。

メモ 設定ユーティリティーの各設定項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

1 設定用パソコンで、Internet Explorerを起動します。

2 アドレス入力欄に「192. 168. 1. 235」と入力し、[移動]をクリックします。

①「192. 168. 1. 235」と入力します。

②[移動]をクリックします。

3 「ログイン」画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

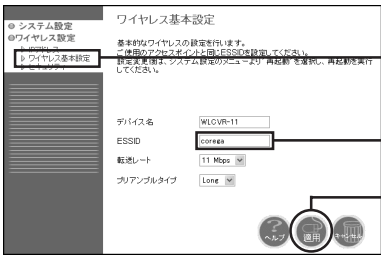
①[OK]をクリックします。

メモ
・工場出荷時の状態では、パスワードは設定されていません。
・パスワードを設定/変更したい場合は、設定ユーティリティーの「システム設定」―「管理者設定」をクリックして表示される画面で、新しいパスワードを設定します。詳しくは「管理者設定」の画面で［ヘルプ］をクリックし、ヘルプを参照してください。
・パスワード入力では、大文字と小文字の区別があるので入力ミスがないように注意してください。

4 「設定ユーティリティー」が起動したら左側のメニューから「ワイヤレス設定」をクリックします。

①「ワイヤレス設定」をクリックします。

5 左側のメニューから「ワイヤレス基本設定」をクリックし、以下のように設定します。



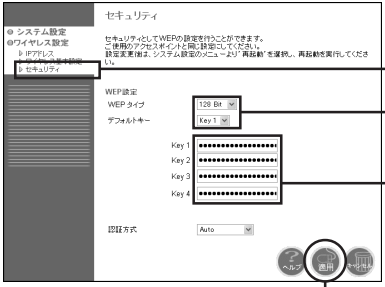
①「ワイヤレス基本設定」をクリックします。

②通信相手機器と同じESSIDを入力します。

③［適用］をクリックします。

注意! Webブラウザーに「オフライン」、「プロキシサーバー」などの設定を行っている場合、本製品の「設定ユーテリティー」が表示されないことがあります。その場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」「設定ユーテリティーが起動できない」(P.37)を参照してください。

6 左側のメニューから「セキュリティ」をクリックし、以下のように設定します。



① 「セキュリティ」をクリックします。

②通信相手機器と同じ設定にします。

③通信相手機器と同じWEPキーを16進数で入力します。
※画面ではセキュリティー上“●”や“＊”で表示されます。

④［適用］をクリックします。

7 「設定ユーティリティー」画面右上の Logout をクリックします。

8 「ログイン」画面が表示されたら［キャンセル］をクリックします。

9 ウィンドウを閉じる旨のメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。

以上で本製品の設定は完了です。

注意! 本製品の設定が完了したあとは、設定用パソコンのIPアドレスとサブネットマスクをご使用のネットワーク環境（ルーターなど）に合わせて元通りに戻してください。

メモ Mac OS Xで「Internet Explorer」をご利用の場合、「設定ユーティリティー」での設定が反映されないことがあります。その場合は、「Mac OS Xで本製品の設定をした場合」（P.32）の設定をしてください。

次に「PART3 ネットワークに接続する」（P.33）に進んでください。

■Mac OS X で本製品の設定をした場合

Mac OS Xで本製品の設定を行った場合、設定内容が反映されないことがあります。その場合には、以下の手順でInternet Explorerのキャッシュの設定を行ってください。

1 Internet Explorerを起動します。

2 メニューバーから「Explorer」―「環境設定」をクリックします。
「Internet Explorerの環境設定」が表示されたら以下のように設定します。

① 「詳細設定」をクリックします。

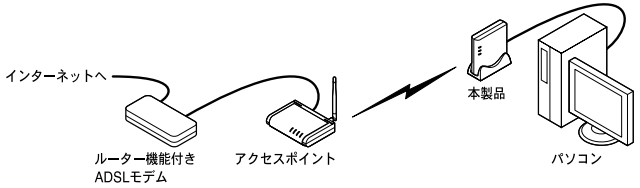
②「キャッシュ」欄で「常に」を選択します。

③［OK］をクリックします。

PART3　ネットワークに接続する

パソコン、ゲーム専用機などと本製品を接続する

本製品の設定が完了したらインターネットに接続するなどして本製品に接続したパソコンやゲーム専用機などから実際のネットワークに接続できるか確認します。ここでは次のような構成でインターネットに接続する場合を例に説明します。



注意!　本製品にハブを経由して複数のパソコンを接続することはできません。

1 本製品に接続するパソコンのネットワーク設定を、使用するネットワーク体系にあわせた値に設定します。

メモ　「PART2 本製品の設定をする」「本製品の設定をしよう」(P.28)で本製品の設定を行ったパソコンを接続する場合は、ご使用のネットワーク体系(ルーターなど)に合わせてパソコンのネットワークの設定を元通りに戻してください。

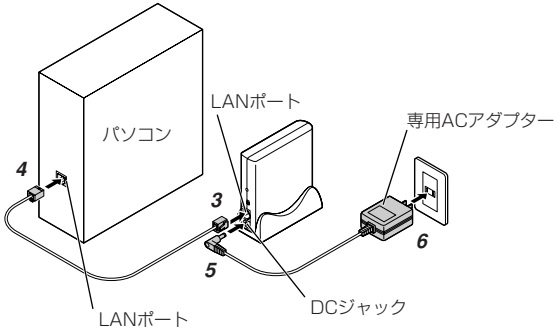
2 本製品とパソコンの電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

3 本製品のLANポートに添付のLANケーブルを接続します。

4 LANケーブルのもう一方をパソコンのLANポートに接続します。

5 本製品のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

6 専用ACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯します。



7 パソコンの電源を入れます。

通信できるか確認する

1 Webブラウザーを起動します。

2 コレガのホームページアドレス「http://www.corega.co.jp/」を入力します。
ルーターでインターネットの設定がされていれば、コレガのホームページが表示されます。

注意! ルーターやアクセスポイントでMACアドレスによる接続制限(MACアドレスフィルタリング)を行う場合は、本製品ではなく、本製品に接続した機器(パソコン、ゲーム専用機など)のMAC アドレスを登録してください。

PART4　トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

解決のステップ

①マニュアルを再確認する。管理者に確認する

②この章の Q&A を確認する

＜トラブルは？＞

通信ができない
設定ユーティリティーが起動できない
本製品のパスワードを忘れてしまった
ファームウェアの更新に失敗した

＜疑問は？＞

本製品を再起動したい
本製品を工場出荷時の状態に戻したい
最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

③コレガのホームページの情報を活用する

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

取扱説明書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にも通信相手の機器の取扱説明書、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、通信相手の機器の問題で正しく動作しないこともあります。

注意! 企業などでお使いの場合は、ネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。ネットワーク管理部門などに確認してください。

Q&A

■通信ができない

● 本製品とパソコンなどは正しく接続されていますか？

パソコンなど、本製品とLANケーブルで接続する機器が、正しく接続されているか確認してください。本製品の電源が入っている状態で本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯していれば正しく接続されています。

● 本製品に接続したLANケーブルは、ストレートケーブルですか？

LANケーブルにはストレートとクロスの2種類があります。本製品のMDI/MDI-X切替スイッチ（P.16）を切り替えてみてください。

● パソコンのネットワーク設定は正しいですか？

接続するネットワーク環境に合った設定にしてください。本製品を設定したパソコンを使用する場合は、設定を元に戻してから使用してください。

● ESSIDやWEPの設定は正しいですか？

通信相手機器（ルーターなど）と同じ設定になっているか確認してください。

■設定ユーティリティーが起動できない

● 設定用パソコンの条件は、合っていますか？

「PART1 まず準備が必要」「設定に必要な環境は準備できていますか？」(P.12) を参照し、設定用パソコンの条件を確認してください。

● 設定用パソコンは、正しく設定されていますか？

「PART2 本製品の設定をする」「設定用パソコンの準備をしよう」（P.21）を参照して、設定用パソコンのネットワーク設定を確認してください。

●プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

Internet Explorer でプロキシサーバーを使う設定になっていると、本製品の設定ページが表示されません。Internet Explorerを起動し、次の手順で、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

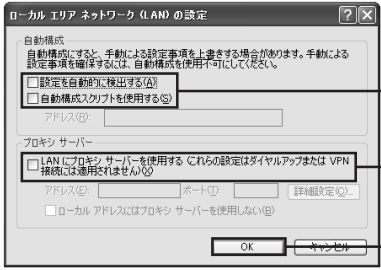
〈Windows の場合〉

1 メニューから「ツール」−「インターネットオプション」をクリックします。

2 「インターネットオプション」画面で「接続」タブをクリックします。

3 [LANの設定]をクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。



①この項目のチェックマークを外します。

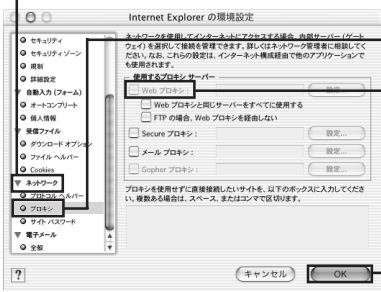
②「OK」をクリックします。

5 「インターネットオプション」画面で[OK]をクリックします。

〈Macintosh の場合〉

1 メニューバーから「Explorer」ー「環境設定」をクリックします。

2 「Internet Explorerの初期設定」画面が表示されたら以下のように設定します。



①「ネットワーク」を選択します。

②「プロキシ」を選択します。

③「Web プロキシ」のチェックマークを外します。

④「OK」をクリックします。

● Internet Explorerが「オフライン作業」になっていませんか？

Internet Explorerを起動した際に、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われていないため、本製品を正常に設定できません。メニューから「ファイル」－「オフライン作業」を選択し、チェックマークを外してください。

①「ファイル」を選択します。

②「オフライン作業」を選択し、チェックマークを外します。

4

■本製品のパスワードを忘れてしまった

本PARTの「本製品を工場出荷時の状態に戻したい〈Initスイッチを使う〉」(P.42)を参照し、工場出荷時の状態に戻したあとで、再度パスワードを設定し直してください。パスワードの設定方法については、設定ユーティリティーの「管理者設定」画面で表示されるヘルプを参照してください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので再度設定しなおしてください。

■ファームウェアの更新に失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアの更新を行ってください。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、本PART の「本製品を工場出荷時の状態に戻したい〈Init スイッチを使う〉」(P.42) を参照してください。

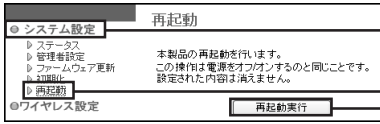
注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。

■本製品を再起動したい

本製品の再起動は、設定ユーティリティーで行います。以下の手順で再起動します。

1 「PART2 本製品の設定をする」「本製品の設定をしよう」「設定ユーティリティーを起動する」(P.29)の手順1～3を参照して、設定ユーティリティーを起動します。

2 左側のメニューから「システム設定」－「再起動」－［再起動実行］をクリックします。



①「システム設定」をクリックします。
②「再起動」をクリックします。
③［再起動実行］をクリックします。

3 「再起動します。よろしいですか？」と表示されたら［OK］をクリックします。

［OK］をクリックします。

4 「再起動中は電源を切らないようご注意ください。」と表示されたら［OK］をクリックします。

［OK］をクリックします。

しばらくして再起動されると「ログイン」画面が表示されます。

これで再起動できました。

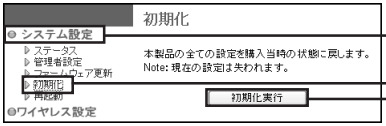
■本製品を工場出荷時の状態に戻したい

本製品を工場出荷時（初期値）の状態に戻すと現在の設定がすべて初期値になります。設定内容をメモしておき、後で再設定できるようにしておいてください。
本製品を工場出荷時の設定に戻す方法は、次の２通りの方法があります。

〈設定ユーティリティーを使う〉

1 「PART2 本製品の設定をする」「本製品の設定をしよう」「設定ユーティリティーを起動する」(P.29)の手順1～3を参照して、設定ユーティリティーを起動します。

2 左側のメニューから「システム設定」－「初期化」－［初期化実行］をクリックします。



①「システム設定」をクリックします。
②「初期化」をクリックします。
③［初期化実行］をクリックします。

3 「初期化を実行します。よろしいですか？」と表示されたら［OK］をクリックします。

［OK］をクリックします。

4 「初期化実行中は電源を切らないようご注意ください。」というメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

［OK］をクリックします。

しばらくして初期化処理が完了すると「ログイン」画面が表示されます。

これで工場出荷時の状態に戻りました。

〈Initスイッチを使う〉

Initスイッチ（P.16）が押せる、先が固くて細いもの（ボールペンなど）を用意してください。

1 本製品の電源が入っている状態で、本製品のInitスイッチをボールペンの先などで5〜10秒押します。

2 Initスイッチからボールペンなどを離します。
本製品のLAN LEDやWLAN LED（P.15）が点灯、点滅していた場合は、一時的に消灯します。

これで工場出荷時の状態に戻りました。

■最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

最新のファームウェアはコレガのホームページからダウンロードできます。
ここではCドライブの「corega」フォルダにファームウェア（firm.img）を保存した場合を例に説明します。

注意! ファームウェアの更新に失敗した場合、本製品を工場出荷時の状態に戻す必要があります。工場出荷時の状態に戻すと本製品の設定がすべて失われますので、更新する前に本製品の設定内容をメモしておいてください。

1 「PART2 本製品の設定をする」「本製品の設定をしよう」「設定ユーティリティーを起動する」（P.29）の手順1〜3を参照し、設定ユーティリティーを起動します。

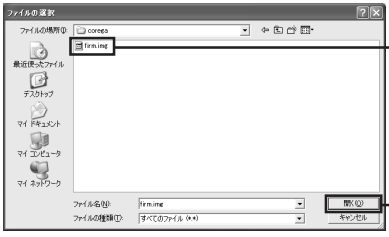
2 左側のメニューから「システム設定」−「ファームウェア更新」−［参照］をクリックします。

①「システム設定」をクリックします。

②「ファームウェア更新」をクリックします。

③［参照］をクリックします。

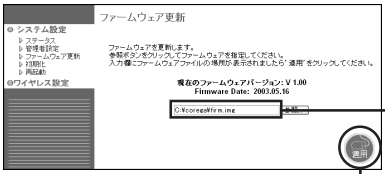
3 「corega」フォルダ内の「firm.img」を選択し、[開く]をクリックします。



①「firm.img」を選択します。

②[開く]をクリックします。

4 「ファームウェア更新」画面の入力欄で「firm.img」の表示を確認し、[適用]をクリックします。



①「firm.img」の表示を確認します。

②[適用]をクリックします。

5 「ファームウェアを更新します。よろしいですか」と表示されたら[OK]をクリックします。

[OK]をクリックします。

6 「処理が完全に終了するまで、操作を行わないでください。」と表示されたら、[OK]をクリックします。

しばらくして更新処理が終了すると「Upgrade Firmware Successfully」というメッセージが表示されます。

7 画面右上の Logout をクリックします。
「ログイン」画面が表示されます。

これでファームウェアの更新処理は完了です。

付録

製品仕様

製品名	
corega WLCVR-11	
無線 LAN	
サポート規格	（国際規格）IEEE 802.11 、IEEE 802.11b （国内規格）ARIB STD-T66、RCR STD-33
周波数帯域	2.4 ～ 2.497GHz
チャンネル数	14（1 ～ 14ch）
伝送方式	DS-SS 方式（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
伝送速度	11/5.5/2/1 Mbps（自動切り替え）
セキュリティー	WEP（64/128bit）、ESSID
通信モード	infrastructure
ローミング	IEEE 802.11 準拠
有線 LAN	
100BASE-TX/10BASE-T（RJ-45）× 1 ポート （スイッチで MDI/MDI-X が切り替え可能）	
サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX）
電源	
AC アダプター（AC100V 50/60Hz）	
消費電力	4.0W

環境条件	
保管時温度	－20～60℃
保管時湿度	95%以下（結露なきこと）
動作時温度	0～40 ℃
動作時湿度	80%以下（結露なきこと）
外形寸法（縦置きスタンドを含まず）	
95（W）×95（D）×25（H）mm	
重量（ACアダプター、縦置きスタンドを含まず）	
101g	
取得承認	
EMI規格 VCCI クラスB 、技術基準適合認定	

工場出荷時の設定

本製品は工場出荷時に以下の設定となっています。

システム設定	
管理者設定	
パスワード	（設定なし）
無通信タイマー	10分
ワイヤレス設定	
IPアドレス	
IPアドレス	192.168.1.235
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	（設定なし）
ワイヤレス基本設定	
ESSID	corega
転送レート	11Mbps
プリアンブルタイプ	Long
セキュリティ	
WEPタイプ	Disabled

MAC アドレスについて

本製品のMACアドレスは、本体裏面のラベルに記入されています。MACアドレスは本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。「PART1 まず準備が必要」「各部の名称と機能を覚えよう」「本体裏面」（P.17）を参照して、MACアドレスを確認してください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2003 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Appleロゴ、AppleTalk、LaserWriter、Mac、Macintoshは米国またはその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
その他、この文書に掲載している会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。
2003 年6 月 Rev.A 初版

保証と修理について

■保証について

製品保証書裏面に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、裏表紙に記載の必要事項をご記入の上、保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、弊社修理センター宛てに製品（添付品一式を含む）を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 弊社修理センターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。普通郵便による送付は固くお断りいたします。
- 修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://www.corega.co.jp/

製品に関するご質問は・・・

製品のご質問はコレガサポートセンターまで必要事項をご記入してFAXまたは電話にてお問い合わせください。
お問い合わせの際には、下記の必要事項をご記入いただいた書面をFAXいただくか、電話にてお知らせください。

■お問い合わせ先

corega　サポートセンター
TEL.045-476-6268
FAX.045-476-6294

＜受付時間＞
10:00～12:00、13:00～18:00　月～金（祝・祭日を除く）

■修理品受付け先

〒222-0033　横浜市港北区新横浜 1-19-20
corega　修理センター
（詳しくは、「保証と修理について」（このページの裏）を参照してください）

■お問い合わせ修理依頼に関する必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・製品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）